

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等																		
コミュニケーション・プロジェクト HC-5		選択	2	2.3	前期 (集中)																		
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー																				
鈴木 真吾	B309	shsuzuki	水曜日 12:10~12:50																				
授業の目的・概要	<p><目的>人間コミュニケーション学科のディプロマポリシーにある「豊かな人間観」と「多様性を尊重する姿勢」を育むため、多様な表現方法・コミュニケーション方法について、実社会の体験活動を実践することを通して、学び得た見識を社会実装化することに挑戦する。</p> <p><概要>HC-5 では、大自然の中での集団活動やアクティビティを体験し、他者との協調性を養う。富士河口湖町でキャンプ等の共同作業を通じて、円滑な人間関係を築くためのコミュニケーション力とチームワークを磨き、社会の場で通用するコミュニケーションの実践力・応用力を向上させる。</p>																						
授業形式・方法	<table border="0"> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>対面授業</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>講義</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>演習</td> <td><input type="checkbox"/>PBL</td> <td><input type="checkbox"/>反転授業</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>ディスカッション・ディベート</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>遠隔授業(双方向型)</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>実習</td> <td><input type="checkbox"/>実技</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>グループワーク</td> <td><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>実習・フィールドワーク</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>遠隔授業(自主学习)</td> <td colspan="5"><input type="checkbox"/>その他</td> </tr> </table>					<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> PBL	<input type="checkbox"/> 反転授業	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート	<input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型)	<input checked="" type="checkbox"/> 実習	<input type="checkbox"/> 実技	<input checked="" type="checkbox"/> グループワーク	<input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク	<input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习)	<input type="checkbox"/> その他				
<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> PBL	<input type="checkbox"/> 反転授業	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート																		
<input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型)	<input checked="" type="checkbox"/> 実習	<input type="checkbox"/> 実技	<input checked="" type="checkbox"/> グループワーク	<input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク																		
<input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习)	<input type="checkbox"/> その他																						
学習上の助言	体験参加が必須な授業であるため、不器用でも良いので、積極的・意欲的な参加姿勢を必須とする。																						
教科書	特に指定しない。																						
参考書	特に指定しない。																						
外部教材	講義中に適時紹介する。																						
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針																			
①	集団活動における自らの役割を理解し、目標達成に向けて他者と協力して行動できる。			HC (2) (6)																			
②	状況に応じて適切なコミュニケーションを図り、多様な意見を尊重して参画できる。			HC (5) (6)																			
③	自然環境の変化や予期せぬ事態に対し、主体的に判断し、安全かつ適切に対処できる。			HC (3) (6)																			
④																							
⑤																							
⑥																							
授 業 計 画																							
<p>本授業は、学内での学習と2回の学外実習（フィールドワーク）を組み合わせた実践体験型のプログラムである。</p> <p>前半は「伝え合うコミュニケーション」を主眼とし、リサーチやワークショップを経て、富士河口湖町の自然／観光散策を中心とした第1回実習を、学生自らが企画・実行する。協働するコミュニケーション、他者理解に重点を置き、富士河口湖町の自然／観光地が来訪者に対して、どのように「自己表現」しているのか、体験活動後の振り返りを通じて、自身のコミュニケーションをも客観視する。</p> <p>後半は「支え合うチームワーク」へと発展させ、キャンプ等の共同作業を伴う第2回実習を行う。グループ単位で目標設定からリスク管理、備品調達までを完遂するプロセスを通じ、集団における役割遂行と合意形成の難しさ、醍醐味を体得する。全行程において「計画・実行・振り返り」のサイクルを回し、現場で生きる自主性と協調性を養う。</p> <p>2回の学外実習（フィールドワーク）とも、原則、「学内での事前学習・準備3コマ」+「実習1日」+「学内での事後学習・振り返り1コマ」をセットとする。実習は土日などの休日に実施する可能性もあるが、履修者と相談の上で決定する。</p> <p style="text-align: right;">必要時間（単位：時間）：30</p>																							
学習課題・学習時間																							
<p>1. 学外活動の企画立案と役割分担（予習）： 担当教員との学内学習の時間外で、学生同士でミーティングできる多くの事項を的確に取り組んでおく。</p> <p>2. リスクマネジメントと基礎知識の習得（予習） 実習を実施する場所の基本的特徴など、事前リサーチするべき事項を調べて、十分に把握しておく。</p> <p>3. 実践の記録と振り返り（復習） 実習後に活動の記録を整理してレポートに取りまとめ、またその際は活動主旨に沿った振り返りを記載する。</p> <p style="text-align: right;">必要時間（単位：時間）：60</p>																							

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	60	0	0	40	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	10	0	0	5	15
	発表・表現伝達する力	0	20	0	0	0	20
	コミュニケーション力	0	10	0	0	5	15
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	10	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	2 回の実習活動について、それぞれの活動記録＋振り返りで構成された、レポート課題を課す。各回 30 点×2 回＝60 点。				講評を添えて、Teams 課題で返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						攻略マップを定期的に共有するタイミングで、フィードバックを行う。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	有能さや行動の結果は不問として、2 回の実習活動に積極的かつ意欲的に参加、取り組む姿勢を評価する。				実習前後・中に指導を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	該当なし						
実践的授業の内容	該当なし						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> グループ単位で活動するため、定員は設けない。最少開講人数は4名とする。 2 回の実習活動に両方とも参加しないと、単位取得できない。 学外実習は履修学生と相談した日時で行うが、1 日単位を要すると見込まれる。併せて、履修学生の時間割の都合上、土日休日に実施する可能性も高いので、事前に納得して履修登録すること。 学生同士の交流を大切に授業なので、他学生の支障になるような不届きな言動を行い、教員の指導に従わない場合は、履修を中断させることがある。その場合、単位は取得できない。 						